

大腸内視鏡検査を受けられる方へ

大腸内視鏡検査の説明と同意書

1. 検査目的：

大腸の病気の診断、ならびに治療を目的とした検査です。

2. 検査方法：

肛門より内視鏡（直径 11.5mm）を大腸に挿入し、大腸内を観察します。検査時間は人により異なります（大腸の長さや走行は人により異なるからです）。

3. 検査日時

令和___年___月___日（ ）午後___時___分

→当日午前___時___分までにご来院ください。

※当日の診療状況によっては、予約通りに検査がすすまない場合があります、待ち時間が発生することもございますが、ご了承ください。

4. 検査前日

1) 夜 21 時以降は食事をとらないようにし、早めに就寝してください。水、お茶、スポーツ飲料は 21 時以降も飲んでいただいて構いません。ジュース、牛乳、コーヒー、紅茶、炭酸飲料はおやめください。

2) 21 時に、お渡しした下剤（プルゼニド 3 錠）を内服してください。

5. 検査当日

1) 昨夜に引き続き、検査が終わるまで食事はとれません。水分はご来院前まで摂っていただいて構いません。

2) 大腸内を空にするため、ご来院後に腸管洗浄剤をのんでいただきます。詳細はご来院後にご説明いたします。

6. 注意点

常用している内服薬がある方は、事前にお知らせください。抗凝固剤・抗血小板剤（血をサラサラにする薬）、糖尿病薬などは一時的に中止したり、飲み方を変更していただく場合があります。

・いつも通り内服してください。

・内服の変更があります。（ ）

1) 当日、大腸ポリープを認めた場合：

内視鏡で切除が可能と判断した場合は、大腸ポリープ切除術、または粘膜切除術を施行します。その場合、切除後2週間は切除部からの出血の可能性があるため、①重い荷物を持つこと、②過度の仕事・運動、③アルコール摂取、④遠方への旅行、⑤長時間の車の運転等は避けてください。用事等で前述の事項を避けることが不可能な場合は、同日のポリープ切除は行わず、後日改めてポリープ切除の予定を立てることになりますのでご了承ください。

2) 大腸内視鏡検査や治療に伴って、0.1~0.2%の方に出血や大腸穿孔がみられたとの報告があります。万一前記の偶発症が生じた場合は、他院と連携し、外科手術を含めた最善の処置を行います。

7. 鎮静薬（ねむり薬）について

1) 当院では、内視鏡検査を行う際、ご希望に応じて鎮静剤を使用しております。鎮静剤を使用する目的は、検査時の緊張を和らげ、検査を楽に受けられるようにするためです。しかし、鎮静剤の使用により、検査後に眠気が残ったり、判断力が低下することがあります。場合によっては半日くらい眠気が続くこともあります。

2) 鎮静剤を使用した場合、状況により検査後30分~1時間ほど院内で休憩していただく場合があります。

3) ご高齢の方は、ご家族の付き添いをお願いいたします。

4) 鎮静剤を使用した場合には、翌日朝まで自動車・自転車の運転はできません。もし自動車・自転車でご来院された場合は、鎮静剤の使用をご希望の場合でも、使用できませんのでご了承ください。

5) 検査当日の患者様の状態によっては鎮静剤を使用できない場合もあります。

上記の内容について十分な説明を受け、了解いたしましたので、大腸内視鏡検査の実施に同意致します。

また、鎮静剤の使用について → 希望します・希望しません

令和____年____月____日

はらたクリニック 内科・消化器内科 殿

患者様氏名

保護者または代理人氏名(患者様との続柄)